## メッセージボックスを作る

マクロを実行する前に、オリジナルなメッセージを表示させる方法を考えます。

次のようなフォームで[ツールボックス]-[コマンドボタン]から[データ削除]ボタンを作成した場合

2	:				
Aa	ab	[ <sup>×vz</sup> ]	닅	۲	
7	Ħ	=ŧ	-		
<b>≜</b> °		一門	<u>-</u> h		1
1		*	-	עקו	下 不分

闘 取引先マスタ		
	削除	
取引先コード: 取引先名: 電話番号: 備考:	MID05 越後屋 024-3345-xxxx	
	4 • • • • •	

次のようなメッセージ(システムメッセージ)を表示します。システムメッセージを表示させない方法 は「メッセージの設定」で行いますが、オリジナルなメッセージを表示させるには、マクロを使いま す。



次のような画面を閉じるボタンは作ってみます。



[プロバティ]-[イベント]-[クリック時]から[マクロビルダ]を選択します。

🖆 コマンド ポタン: Btn終了	×
書式   データ イベント   その他   すべて	
フォーカス取得時	
フォーカス喪失時	
フォーカス取得後	
フォーカス喪失後	$\cap$
クリック時	<u></u>
ダブルクリック時	
マウスボタンクリック時	
マウスボタン移動時	
マウスボタン解放時	
キークリック時	
十一解放時	
キー入力時	



[OK]をクリックすると次の画面が表示されますので、わかりやすい名前をつけます。

名前を付けて保存	<u>? ×</u>
マクロ名(N):	ОК
	キャンセル

マクロ名に「終了ボタン1」と名前を付け、[マクロ名付きマクロ作成画面]でマクロを作成します。 画面の[マクロ名]に適当な名前を付け、[アクション]から[メッセージボックス]を選びます。

2 #7#30113	90		+0 ×
1004後	72/32	222本:	
1 47450	1911-356 Star		
10	メニューの構成		
1	モジュールき聞く		
-	LO-FORM -		
100	レポートを聞く		
-	ワーゲ/		
1			
111			
1			
10			
100			
12			
100			

7	冬了ボタン1:マクロ				
	- マクロ名	条件	アクション		
	終了ボタン1		メッセージボックス 開じる		
				4	
					•
			アクションの引数		
					マクロ名を入力します。
				$\square$	

[アクションの引数]を設定します。

メッセージ	フォームを閉じます	
警告音	はい	
メッセージの種類	なし	
メッセージタイトル	お疲れ様	

[メッセージ]の因数には、表示させたい言葉を記述します。

[警告音] はメッセージボックスが表示されたときに音を鳴らすかどうか選びます。 [メッセージの種類は]はメッセージボックスへアイコン表示のするかどうか選びます。



[メッセージタイトル]はメッセージボックスの表題に表示する言葉を記述します。

フォームの[終了]ボタンをクリックしたとき、下図のようなボックスメッセージを表示します。

お疲れ様		×
(i)	フォームを閉じます	
	OK	<u>A</u>